

2011.10、11月号

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

・合同講演会の開催	P 1
・平成 23 年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト選定結果 並びに表彰式の開催について	P 2
・平成 23年度土地月間記念講演会を開催	P 3
・「中野駅周辺まちづくりアイデア募集」のお知らせ	P 5
・機構の活動状況	P 6

## § 合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第 13 回目の講演会を、10 月 12 日（水）都市計画会館において開催いたしました。本講演会は、国土交通省・都市局の関係各課から講師をお迎えし、毎回ホットなテーマに関してご講演を頂いております。今回は、都市計画課・街路交通施設課の山田整備室長をお迎えし、『都市交通関連施策の最近の動向について』と題してご講演をいただきました。

以下はご講演内容の概要です。

### 講演内容の概要

1. 日本の都市の現状と課題
  - ①都市を取り巻く社会経済情勢の変化
  - ②都市交通の課題
2. 成長戦略
  - ①政府「新成長戦略」  
～「元気な日本」復活のシナリオ
  - ②国土交通省成長戦略会議報告
3. 交通基本法案
  - ①「交通基本法の制定と関連施策の充実に向けた基本的な考え方（案）」のポイント
4. 都市交通戦略の取り込み
  - ① 21 世紀のまちづくりの目標
  - ②都市構造の再編
  - ③総合的何都市交通の戦略に基づく取組
5. 社会資本整備総合交付金の概要と都市交通分野での活用
  - ①社会資本整備総合交付金の特徴
  - ②社会資本整備総合交付金のイメージ





## 6. 自転車対策

- ①都市交通における自転車の位置づけと課題
- ②走行空間整備
- ③駐輪対策
- ④コミュニティサイクルについて

## 7. 環境対応者

## 8. 健康・福祉のまちづくり

## 9. 都市交通の最新の技術事例

- ①架線レス LRV
- ②堅い踏切
- ③直上方式

上記の内容をパワーポイントおよび配布資料を使用して分かりやすくご説明をいただき、ご講演後の質疑応答も活発に行われました。

本シリーズについては、国土交通省・関係各課にご協力をいただきながら今後も進めて参ります。



## § 平成 23 年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト選定結果並びに表彰式の開催について

当機構では、国土交通省の後援をいただき、今年度も土地活用モデル大賞を開催致しました。全国からプロジェクトの応募をいただき、1次審査で7プロジェクトを選定、最終審査で5プロジェクトを土地活用モデル大賞（国土交通大臣賞）をはじめとする優秀作品として選定し、去る10月26日にアルカディア市ヶ谷におきまして表彰式を開催いたしました。

### 選定結果

#### □国土交通大臣賞（1点）

- ・出石小学校跡地整備事業【所在地：岡山県岡山市】

#### □都市みらい推進機構理事長賞（1点）

- ・標津町営定住促進団地【所在地：北海道標津町】

#### □審査委員長賞（3点）

- ・旧国鉄中央線愛岐トンネル群の第一次再生活動【所在地：愛知県春日井市】
- ・二子玉川ライズ【東京都世田谷区】
- ・ららぽーと横浜・パークシティ LaLa 横浜プロジェクト【神奈川県横浜市】

### 表彰式



【国土交通省 内田土地・建設産業局長の来賓挨拶】



【受賞者記念撮影の様子】



## 審査

### (1) 審査経過

・ エントリー用紙の提出締切り	平成 23 年 7 月 29 日 (金)
・ 応募図書提出締切り	平成 23 年 8 月 12 日 (金)
・ 1 次審査の実施 (7 地区を選定)	平成 23 年 9 月 2 日 (金)
・ 現地調査の実施	平成 23 年 9 月上旬～9 月下旬
・ 最終審査の実施 (5 地区を選定)	平成 23 年 10 月 4 日 (火)
・ 表彰式 (アルカディア市ヶ谷 5 階「大雪」にて開催)	平成 23 年 10 月 26 日 (水)

### (2) 審査委員会メンバー

委員長	黒川 洸	(一般財) 計量計画研究所代表理事、東京工業大学名誉教授
委員	岸井 隆幸	日本大学教授
	小柳春一郎	獨協大学教授
	飯田 英明	(一般財) 日本不動産研究所常勤顧問
	川口有一郎	早稲田大学教授
	山崎 誠子	(有) GA ヤマザキ取締役、日本大学助教
	島村美由紀	(株) ラスアソシエーツ代表取締役
	西川 智	国土交通省土地・建設産業局土地市場課長
	佐々木 健	(財) 都市みらい推進機構専務理事

### (3) 審査基準

審査委員会において、以下の4つの審査基準をもとに審査が行われ、優秀作品を選定しました。

- ・「課題対応性 (地域の課題や経済・社会的な課題への適切な対応)」
- ・「先導性 (周辺への触発効果や他のプロジェクトに対する影響 (インパクト) など)」
- ・「独創性 (手法や仕組みの新しさ)」
- ・「汎用性 (他地域での応用のしやすさ)」

土地活用モデル大賞は、優れた土地活用を全国的に紹介しその普及を図るために、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、いわば「成功モデル」に着目した事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行うものです。来年度の募集は7月上旬の予定です。

国土交通大臣賞、都市みらい推進機構理事長賞及び審査委員長賞の各賞については、12月号に掲載します。

## § 平成 23 年度土地月間記念講演会を開催

国土交通省では毎年10月を「土地月間」と定め、土地の有効活用促進に向けたイベントを数多く行っておりますが、当機構でも、こうした国土交通省の開催趣旨に賛同して、毎年標記イベントを開催しております。

今年も前年と同様に土地活用モデル大賞表彰式との併催といたしました。

講演会の部につきましては、例年、(財) 土地総合研究所のご協力を得て共催とさせて頂いている他、国土交通省、(社) 経済同友会、日本商工会議所、(財) 日本不動産研究所、(株) 日本政策投資銀行にもご後援を頂いております。

表彰式に引き続いて行われた講演会では、国土交通省土地・建設産業局の西川 智 土地市場課長から「土地行政の最近の動きについて」と題してご講演を頂いた後、受賞者から受賞プロジェクトの概要をご説明頂きました。

そして最後に、「持続可能なまちづくり」と題して (株) まちづくりカンパニー・シーブネットワーク代表取締役の西郷真理子氏にご講演を頂きました。

以下、その概要についてご紹介いたします。



1. 国土交通省の土地行政の最近の動きについて…土地市場課長 西川 智 氏  
最近の地価動向・土地の需給動向・不動産投資市場の課題に加えて、国土交通省の主な施策《不動産取引価格情報の提供、不動産価格指数の整備、環境不動産の普及推進等》についてご説明いただきました。



2. 平成 23 年度土地活用モデル大賞大臣賞、理事長賞受賞プロジェクトの概要説明  
【国土交通大臣賞】

◇出石小学校跡地整備事業

両備ホールディングス（株）両備不動産カンパニー

執行役員カンパニー長

佐藤 朝洋 氏

岡山市企画局長

櫻井 理寛 氏

【都市みらい推進機構理事長賞】

◇標津町営定住促進団地

標津町 企画政策課長

川口 真 氏



3. 平成 23 年度土地活用モデル大賞審査委員長賞受賞プロジェクトの紹介

◇旧国鉄中央線愛岐トンネル群の第一次再生活動

◇二子玉川ライズ

◇ららぽーと横浜・パークシティ LaLa 横浜プロジェクト

4. 「持続可能なまちづくり」

…（株）まちづくりカンパニー・シーブネットワーク代表取締役 西郷真理子 氏

「持続可能なまちづくり」と題して、西郷先生のこれまでの経験を踏まえて、「持続可能なまちづくり」とするための考え方や手法、「持続可能なまちづくり」の発想を踏まえた東日本大震災復興計画の素描・実現の方法についてご講演頂きました。



以下はご講演資料の抜粋です。

◇「持続可能（Sustainable）なまちづくりをめざして

その地域のライフスタイルを大切にしまちづくりを行い、周辺の小都市や農村漁村の活性化とあわせて開発する「ライフスタイルのブランド化」の考え方や手法が有効。

○地方の課題を解決する枠組みが重要

・これまでの延長線上で復興の方法を発想してもうまくはいかない。

現状での停滞や衰退に悩む課題の原因を見極め、それを解決し得る枠組みを有さなければ一時的・上辺的に復興はなったとしても、やがては同じ轍を踏み、地域が崩れていくことにしかない。

○地域の再生には中心になる都市が重要

・「住」を含め様々な諸活動「職」、「額」、「遊」、「憩」などを既成市街地に集積することで、「コンパクトシティ・美しい都市」を実現。



- ・まちづくりの主体は住民。
- まちづくり会社は新しい公共の中核的な担い手
  - 以下の3つの中核的な事業を推進
    - ・土地利用権を共同化して、デザインコードにより美しい空間を創出。
    - ・ライフスタイルのブランド化の推進
    - ・コミュニケーション・プラットフォームの構築

#### ◇復興計画の素描

戦前までの町のメインストリートであった山麓へ、一定の津波の備えをして市街地をコンパクト化・縮退（シュリンク）した中心市街地を構成し、市街地に賑わいを取り戻す。実現には、デザイン、スキーム、産業の三つの柱が必要。



- デザイン
  - ・どこに自然や農地を戻すかのゾーニング
  - ・デザインコードによる美しい町並みの再生
- スキーム
  - ・土地に係わる権利は、定期借地権によって所有と利用の分離を図る
  - ・実施主体はまちづくり会社
  - ・公的資金を呼び水に、地域内および他地域・世界の企業・市民からの社会的投資をあおぐ
- 産業
  - ・周辺地域と連携し、再生した町並みを中心にライフスタイルのブランド化し産業化を図る

#### ◇特区（地域活性化総合特区など）の活用

- ・復興計画において、市町村と住民が主体となる共助の仕組み（まちづくり会社）がコラボレーションして行う
- ・特区制度を活用して、共助のしくみ（まちづくり会社）が、持続可能な都市再生・マネジメントが行えるように、既成緩和、税制改正、財政支援を行う

## § 「中野駅周辺まちづくりアイデア募集」のお知らせ

中野駅周辺では、警察大学校跡地地区の開発や明治大学及び帝京平成大学の中野キャンパスが開校されることになっています。また、中野区では、開発に合わせた道路・公園の整備や中野駅北口の改修を進めているほか、JR中野駅の自由通路整備に向けた検討を進めています。このたび、中野サンプラザの所有会社、株式会社まちづくり中野21が主催し、中野区が後援して、中野駅周辺まちづくりのアイデアを募集することとしましたのでお知らせします。

アイデア募集の事務局は、株式会社まちづくり中野21から受託した当機構が務めており、専用のホームページを開設しております。

#### □中野駅周辺まちづくりアイデア募集ホームページ

URL： [http://toshimirai.jp/nakano\\_idea/index.html](http://toshimirai.jp/nakano_idea/index.html)

募集要項の公表・配布は、11月14日（月）から、上記ホームページにて行なっております。

**募集します! “ナカノ”の“カタチ”**  
中野駅周辺まちづくりアイデア募集

**住みたいと思うまち**  
**生活しきと働くまち**  
**楽しく元気なまち**

“アナタ”の想像が、“ナカノ”を創造する。

アイデア受付期間  
平成23年 11月14日(月)から 平成24年 11月16日(月)まで  
(土曜祝日)

**募集内容**

- 「バグや成金の壁」又は「A4判の壁」の壁  
壁の厚さは、下記1100mmです。  
1) 壁の厚さに応じて「壁の壁」  
2) 壁の厚さに応じて「壁の壁」
- 「バグやA4判」の壁  
壁の厚さは、下記です。  
壁の厚さに応じて「壁の壁」

**対象区域 (重点地区)**  
中野駅周辺、中野区に属する以下の地域  
中野駅周辺、中野区に属する以下の地域

募集要項・応募方法については、上記事務局のHPに掲載中の「募集要項」をご覧ください。



## § 機構の活動状況

日	9月	日	10月	日	11月
2	土地活用モデル大賞第2回審査委員会	11	大泉学園駅北口地区市街地再開事業特定業務代行者第1回選定審査委員会	7	中野駅周辺まちづくりアイデア募集第1回審査委員会
8	土地活用モデル大賞現地調査 (JR大阪駅開発プロジェクト)	12	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 (国交省街路交通施設課)	8	京急蒲田西口駅前地区市街地再開事業特定業務代行者第2回選定審査委員会
10	土地活用モデル大賞現地調査 (中山道「御嶽宿」景観修景プロジェクト)	13	日本PPP・PFI協会との連携協議	8	鎌倉市と観光戦略協議
14	鎌倉市観光戦略協議	14	日本舟艇工業会 (マリンフロート関連ヒヤリング)・震災復興関連	14	NHK エンタプライズと意見交換
20	土地活用モデル大賞現地調査 (出石小学校跡地整備事業)	26	平成23年度土地活用モデル大賞表彰式・土地月間記念講演会	15	大泉学園駅北口地区市街地再開事業特定業務代行者第2回選定審査委員会
24	土地活用モデル大賞現地調査 (ららぽーと横浜)			17	平成23年度調査研究報告会、講演会、意見交換会
25	土地活用モデル大賞現地調査 (旧国鉄愛岐トンネル群の再生活動)			18	地中熱利用ヒートポンプを活用した低炭素都市づくり研究会 先進地視察
26	京急蒲田西口駅前地区市街地再開事業特定業務代行者第1回選定審査委員会			18	金澤工業大学 (東京) と意見交換・観光戦略
26	海洋産業研究会 (マリンフロート関連ヒヤリング)・震災復興関連				
27	土地活用モデル大賞現地調査 (標準町営定住促進団地)				
30	土地活用モデル大賞現地調査 (二子玉川ライズ)				

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

5	地下街帰宅困難者ヒヤリングISP、東武ホープ、京王モール、小田急	11	国交省 街路課長地下街他打合せ	7	見学会 (首都高 横浜環状北線シールド工事)
12	地下街帰宅困難者ヒヤリング京急	12	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 (国交省街路交通施設課)	8	国交省都市計画課 ACUUS 打合せ
12	国交省河川局打合せ	13	東京都都市整備局都市基盤部八重洲地区分科会報告他	14	黒川会長代行 ACUUS 打合せ
13	八重洲・京橋・日本橋地区分科会 WG	20	黒川会長代行 ACUUS 打合せ	15	地下利活用検討分科会コア会議
20	福岡市打合せ	24	土木学会合同東日本大震災調査 (仙台市)	15	八重洲地区分科会八重洲再開協議会活動報告
20	事業部会	27	中央区都市整備部八重洲地区分科会活動報告	18	地下浸水シュミレーションコア会議
28	国際交流部会			18	八重洲・京橋・日本橋地区分科会 WG
30	地下利活用検討分科会 WG			18	京大防災研浸水シュミレーション調査報告
				19	大阪分科会幹事会

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

28	第23回技術研究発表会論文審査委員会			7	第18回交流展示会 (7~13)
				9	第23回技術交流展示会
				10	第2回首都圏都市基盤施設整備見学会 (東京駅)

#### 《まちづくり情報交流協議会》

29	第3回企画運営委員会 (電子会議)	14	第4回企画運営委員会 (電子会議)	10	平成23年度 全国研修会 (豊田)
				11	

### (財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他

ホームページもご覧下さい  
<http://www.toshimirai.jp/>